

第八十六回帝國議會 農林中央金庫法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

農林中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二六號)

昭和二十年一月三十日(火曜日)午後二時二十四分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 高橋熊次郎君
理事 愛野時一郎君 理事 小笠原八十美君
理事 恒松於菟二君 理事 森部 隆輔君
安藤 覺君 馬岡 次郎君
小高長三郎君 加藤 知正君
唐橋 重政君 木村寅太郎君
黑澤 西藏君 小山邦太郎君
齋藤 憲三君 土屋 源市君
野村嘉久馬君 平野 力三君
松浦 伊平君 松原五百藏君
前川 正一君 村上 國吉君
森川 仙太郎君 山口左右平君
山口馬次君 山田 六郎君
吉田 賢一君

出席國務大臣ノ如シ

- 農商大臣 島田 俊雄君
出席政府委員左ノ如シ

- 農商參事 長野 高一君
農商省總務局長 梶見 義男君
農商省農政局長 西村 彰一君
食糧管理局長官 湯河 元威君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農林中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○高橋委員長 ソレデハ只今カラ農林中央金庫法中改正法律案ノ委員會ヲ開會致シマス、先ヅ本法案ノ御説明ヲ農商大臣カラ御願ヒ致シマス

○島田國務大臣 農林中央金庫法中改正法律案提案ノ理由及ビ内容ノ概要ヲ申上ゲマス

御承知ノ通り最近農村ニ於ケル貯蓄狀況ハ、農業團體ニ依リマスル農林產物販賣代金ノ貯蓄振替拂付ノ厲行等ニ依リマシテ、顯著ナル成績ヲ示シマシテ、市町村農業會ノ貯蓄取扱額ハ百十億圓ヲ突破スルノ實情デアリマス...

本法案ノ提案ノ趣意ハ、左様ナ次第デアリマシテ、改正ノ第一點ハ、出資者ノ範圍ノ擴張デアリマス、即チ從來農林中央金庫ノ出資者タル資格ヲ有スルモノハ、政府ノ外法律上農業團體、水產業團體、森林組合系統團體、市街地信用組合ニ限ラレテ居ルノデアリマス...

業ニ關スル事業ヲ營ム法人ニ限定サレテ居ルノデアリマシテ、是レ以外ノ方法ト致シマシテハ最近著増ノ一途ヲ迎リツ、アル軍需產業方面ノ資金需要等ニ應ズル爲ニハ、興業債券、戰時金融債券其ノ他ノ債券ヲ引受等ニ依ル外ハナイ...

道府縣農業會ノ貯金ノ増加ノ趨勢ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、支那事變以來系統農業會ノ貯金ノ狀況ハ、逐年増加致シテ參ツタノデアリマスガ、簡單ニ御説明申上ゲマスル便宜上、昭和十三年ノ十二月ト昭和十九年ノ八月現在ヲ以テマシテ御説明申上ゲテ見タイト思ヒマス、先ヅ市町村農業會ノ貯金ノ狀況デゴザイマスガ、昭和十三年十二月ニ於キマシテ貯金ノ額ガ十八億二千萬圓デアツタモノガ、昭和十九年ノ八月ニハ百十四億七千萬圓ニ達シテ居リ...

改正ノ第二點ハ、年賦貸付ノ限度ノ擴張デアリマス、從來自己資金ニ依ル年賦貸付ノ限度ハ法律上拂込出資金及ビ農林債券發行額ノ二分ノ一トセラレテ居リマス...

改正ノ第三點ハ、餘裕金ノ運用ニ關スルモノデアリマス、現行法ニ於キマシテ、所屬團體以外ニ對スル短期貸付ノ方法ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、其ノ相手方ハ非所屬ノ農林水產業團體及ビ是等團體ノ發達ヲ圖ル爲ノ施設ヲ行フ法人、又ハ食糧營團其ノ他農林水產...

以上本案提出ノ理由並ニ改正ノ内容ノ大要デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御可決相成ルヤウ御願ヒ致シマス

○高橋委員長 尙ホ此ノ場合審議上參考ニナルベキ事項、數字等ニ互ツテ政府委員ヨリ御説明ヲ願ツタ方ガ宜シイト思ヒマス

○梶見政府委員 ソレデハ改正法律案ノ三ツノ要點ニ關聯致シマシテ、數字ノ事情ヲ御説明申上ゲタイト思ヒマス

先ヅ第一點ノ中央金庫ノ所屬會員ヲ殖ヤスニ至リマシタ事情、是ハ只今大臣カラ説明申上ゲマシタ通りデアリマスガ、其ノ基礎ヲ成シテ居リマスル中央金庫ノ資金増強ノ狀況デアリマス、之ニ關聯致シマシテ市町村農業會及ビ...

次ニ改正ノ要點ノ第二點デアリマス年賦貸付限度ノ擴張關係ノ點ニ付キマシテ、數字ノ御説明申上ゲマス、現在農林中央金庫ノ資本金ハ五千萬圓デアリマシテ、其ノ中政府ガ七百五十萬圓ヲ持ツテ居リマス、ソレ以外ハ所屬團體ガ持ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ額ガ三千二百五十萬圓、合計致シマシテ五千萬圓ノ額ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ中政府ノ方ハ全額拂込...

デ居リマスガ、所屬團體ノ方ニマダ未  
拂込ガ残ツテ居ルヤウナ情勢デアリマ  
ス、最近ノ拂込済出資金ノ合計ハ三千  
九百一十一萬五千圓、斯ウ云フ情勢デア  
リマス、隨テ尙ホ一千萬圓程度ガ未拂  
込ノ狀況デアリマシテ、ソレデ  
現在ノ法律上ノ年賦貸付ノ限度カラ申  
シマス、只今申シマシタ二千九百一  
一萬五千圓、是ノ半額ノ一千九百五十  
五萬七千圓、是ハ年賦貸付ノ限度ニナ  
ツテ居ルノデアリマス、最近ノ年賦貸  
付殘高ハ千三百二十萬圓餘デアリマス  
ノデ、差引餘裕限度ヲ致シマシテハ六  
百三十四萬圓餘ニナル譯デアリマス、  
併シナガラ今後森林組合デアリマス、  
カ、或ハ漁業組合デアリマス、相  
當年賦長期ノ資金ヲ要スル需要ガ想定  
サレマスノデ、今回一面ニ於キマシテ  
先程申シマシタヤウニ中央金庫ノ資力  
ガ相當増強致シテ參リマシタノデ、此  
ノ際更ニ金額マデ、即チ千九百五十五萬  
圓ヲ増大致シマシテ、滿額マデ年賦貸  
付ガ出來ル、斯様ニ致シタイト考ヘタ  
次第デアリマス

第三點ノ、中央金庫ガ其ノ餘裕金ノ  
運用ノ方法ト致シマシテ、今回興業銀  
行或ハ戰時金融庫等ノ金融機關ニ對  
シマスル貸付ノ途ヲ開イタコトデアリ  
マスガ、之ニ關聯致シマシテ、從來ノ  
中央金庫ト興業銀行ナリ、或ハ戰時金  
融金庫トノ關係ニ付テ御説明申上ゲテ  
見タイト思フノデアリマス、現在ハ是  
等ノ金融機關ニ對シマシテハ、債券ヲ  
引受ケルト云フ形デ以テ金融上ノ關聯  
ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、即チ興  
業銀行ニ對テマシテハ、其ノ興業債券  
ノ引受高ハ現在十億五千萬圓ニ達シテ  
居リマス、最近ノ情勢カラ見マスル  
ト、四半期毎ニ一億圓見當引受高ガ増

加シテ居ルヤウナ趨勢デアリマス、又  
戰時金融庫トノ關係ニ付キマシテ  
ハ、同ジク金融ノ債券ヲ二億九千萬圓  
持ツテ居リマス、是モ最近ノ趨勢カラ  
申シマスルト、四半期毎ニ五千萬圓ヲ  
増加シテ居ルヤウナ情勢デアリマス、  
是レ以外ニ債券ノ前貸金ト申シマス  
カ、預託金ト稱シテ居ルノデアリマス  
ガ、是モソレノ銀行ニ對シテ持ツ  
テ居リマス、即チ興業銀行ニ對シマシ  
テハ現在殘高四千五百萬圓、戰時金融  
庫ニ對シマシテハ預託金ノ殘高ハ九  
百萬圓、斯ウ云フヤウナ情勢ニナツテ  
居ルノデアリマスガ、今回は等ノ債券  
引受ノミナラズ、積極的ニ餘裕金ヲ貸  
付シ得ル途ヲ開コトニ致シタヤウナ  
次第デアリマス、何等カノ御參考マデ  
ニ序デニ御説明申上ゲマシタ次第デア  
リマス

○高橋委員長 是ヨリ委員諸君ノ御質  
議ニ入りマス——恒松君  
○恒松委員 此ノ特別委員會ハ今議會  
中農商省ノ唯一ノ委員會デアリマスノ  
デ、付託セラレタ法案其ノモノヨリモ  
寧ロ食糧問題ニ關聯シテ、相當論議ヲ盡  
シ得ルモノハ盡サナケレバナラナイト  
私ハ信ジテ居リマス、ソレニ付キマシ  
テ折角大臣モ御臨席ナサレテ居リマス  
カラ、此ノ機會ニ一ツ御尋ネテ致シタ  
イト思ヒマスノハ、去ル一月十二日ニ  
政府カラ戰時五大重點施策ノ一ツトシ  
テ、食糧ノ飛躍的増産ト國內自給態勢  
ノ強化ト云フコトガ發表ニナツテ居ル  
ノデアリマス、是ハ無論戰時下ニ於ケ  
ル食糧ノ重大性ニ付キマシテハ、今更  
言フ俟タナイノデアリマス、殊ニ長期戰  
ニ互レバ、寧ロ私ナドノ考ヘトシテハ  
兵器ヨリ以上ノ重大性ヲ持ツモノ  
デアリト云フコトヲ信ジテ居リマス、

唯此ノ大キナ項目ガ單ニ言葉ノ綾ヤ、  
或ハ看板ニ終ルト云フヤウコトガアツ  
テハ大變デアリマス、而モ此ノ大項目  
ノ實施ハ、主トシテ農商省ノ責任アル  
施策ニ俟タナケレバナラナイト私ハ思  
フハデアリマス、所ガ從來ノ食糧生産  
ハ決シテ私ハ無計畫的トハ申シマセヌ  
ガ、其ノ多クノ計畫ノ基礎ガ、其ノ年  
年ニ甚ダシキ變動ヲ加ヘテ居ル、モツ  
ト極端ニ申上ゲマス、或ル政策ノ如  
キハ其ノ場ノ思ヒ付キノモノガ決シテ  
少クアリマセヌ、併シ今日ハサウ云フ  
ヤウナ態勢ハ絕對ニ許サレナイノデア  
リマシテ、要スルニ現在ノ戰局ノ段階  
ニ即應シテ有效ナ、最新ナル構想  
ノ下ニ、確乎不拔ノ安定性ノアル計畫  
ノ上ニ食糧ノ飛躍的増産ノ對策ガ確立  
セラレナケレバナラナイト私ハ思フノデ  
アリマス、サウ云フ見地カラ此ノ食糧  
ノ飛躍的増産及ビ國內ノ自給態勢ノ強  
化ト云フコトガ、大キイ項目トシテ掲  
ゲラレマシタガ、ドウ云フ施策ヲ致シ  
テソレヲ達成スルカ、其ノ施策ノ全貌  
ニ互リマシテ具體的ニ御示シ願ヘレバ  
洵ニ幸ヒト思ヒマス

○島田國務大臣 只今ノ御質問ハ極メ  
テ重要ナル點ト考ヘマスガ、戰時下ニ於  
テ戰爭ノ勝敗ヲ決スル最後ノ鍵ガ食糧  
ニアル、斯ウ云フコトハ夙ニ政府ニ於  
テモソレヲ認メ、サウシテ此ノ食糧問  
題ニ最モ重點ヲ置カネバナラヌト云フ  
コトニ相成ツテ居ル次第デアリマス、  
而シテ其ノヤリ方ト云フモノニ付キマ  
シテハ、是ハ一言ニシテ盡スコトハ固  
ヨリ出來マセヌ、各方面ニ互ツテ居ル  
コトデアリマシテ、農商省豫算ノ殆ド  
全科目ニ互ツテ其ノ意味ガ盛ラレ、現  
ハレテ居ル次第デアリマス、過ル臨  
時議會ニ於キマシテ、相當各般ニ互ツ

テ豫算ノ協算ヲ經タ項目、並ニ今回ノ  
本豫算並ニ追加豫算ニ於テ計上セラレ  
テアリマスル費目ノ大部分ハ、之ニ關  
聯ヲシテ居ル所デアリマシテ、ソレ等  
ノ一々ニ付テ論議ヲ致シマシレバ、只  
今御指摘ノヤウナ御批評アル點モ  
ルカト思ヒマスガ、之ヲ一聯ノ農業政  
策トシテ、戰時下ニ於ケル施策トシテ  
考ヘテ行ケバ、ソコニ大キナ意味ヲ御  
擲ミ下サルコトガ出來ルデアラウト思  
ヒマスシ、又其ノ點ハ十分御諒解ヲ得  
テ居ルコトト思フノデアリマス、現在  
ノ戰爭ノ段階ニ於キマシテ、食糧ノ面  
カラ之ヲ考ヘマシテ、日滿支ヲ通ズル  
自給對策ト云フモノハ、是マデ屢、言ハ  
レテ居リ、萬人是認シテ居ル所デアリ  
マシテ、戰時下ニ於テハ大體此ノ方針  
ヲ以テ行ツテ居ル、其ノ戰局ノ狀況ガ  
今日ノヤウニナリマセヌ時代ニ於キマ  
シテハ、更ニ南方方面ノコトモ考ヘマ  
シテ、外地ニ於ケル、或ハ外國カラノ  
輸入ノ食糧ト云フヤウナコトモ考ヘラ  
レテ居ツタノデアリマスガ、段々戰局  
ノ推移ニ伴ヒマシテ外米依存ヲ脱却ス  
ル、斯ウ云フコトヲ簡單ニハ考ヘテ居  
リマセヌケレドモ、併シナガラ外米ヲ  
容易ニ入レルコトガ出來ナイ、其ノ外  
ノ物資ヲ入レテ來ルコトモ中々困難デ  
アル、諸種ノ事情ニ制約サレテ困難ダ  
ト云フ點ガアリマス、ソコデ日滿支ヲ  
通ズル、更ニ之ヲ詰メテ申シマス、  
日滿一體ノ考ヘ方デ行カネバナラヌ、  
斯ウ云フヤウナ考ヘ方ニナツテ居ルノ  
デアリマスガ、更ニ今日ノ狀況カラ之  
ヲ押詰メテ考ヘマス、ソコニ國內ニ  
於ケル所謂自給態勢ヲ萬全ノ措置トシ  
テ最後のニ考ヘテ行カネバナラヌ、斯  
ウ云フノガ全體ノ食糧政策指導ノ根本  
ノ大方針デアル、ソコニ只今提案致シ

テ居リマスル、豫算ノ方ニ於テ現ハレテ  
居ル內地ニ於ケル食糧ノ飛躍的増産ト  
云フコトヲヤラネバナラヌ、同時ニ外  
地ニ於テ自給態勢ヲ強化、斯ウ云フ問  
題ガソコニ現ハレテ來ルノデアリマ  
ス、此ノ意味カラ食糧ノ事情ヲ痛感致  
シマシテ、是マデモ主要食糧ト致シマ  
シテハ米、麥、斯ウ云フモノニ重點ガ  
置カレテ居ツタ譯デアリマスガ、更ニ之  
ニ諸類ヲ主要食糧トシテ考ヘベキ事情  
ガアル、是等ニ付テハソレノ今日マ  
デ種々ノ施策ヲ講ジテ來テ居ル譯デア  
リマス、之ヲ無論強化シテ行カネバナ  
ラヌノデアリマスガ、我が國ノ今日ノ  
狀態カラ考ヘマシテ、麥ニ付テモ麥ニ  
付キマシテモ、麥ニ付テハ昨年來大増  
産ト云フ計畫ヲ立テテ現ニ實施ラシ、  
之ニ期待ヲ掛ケテ居ルノデアリマス  
ガ、中々此ノ方面ニサウ所謂飛的ト  
云フヤウナ大増産ヲ期待スルコトハ、  
御承知ノ如ク相當困難ナコトデ、幾多  
ノ施策ヲ講ズルケレドモ、米ニ付テ申  
シマスレバ色々目標ヲ立テテヤリマス  
ケレドモ、結局ハ前何箇年ノ平均ニ及  
ブトカ及バナイトカ云フ成績ニナル、  
豊凶ハアリマスケレドモ、サウ云フ成  
績ヲ現實ニ現ハレテ居ルノデアリマ  
ス、米ニ付テハ凡ユル努力ヲ加ヘテ、  
尙ホ現在ノ生産量ヲ維持シ、或ハ之ヲ  
凌駕シテ行クト云フ結果ニ陥ラザルヲ  
得ナイモノデアラウト思フノデアリマ  
ス、之ヲ五割、八割ト増加スルト云フ  
コトハ、容易ナ業デナイコトハ現狀ト  
シテ明カデアリマス、麥ニ付テモ、是  
ハヤリ方ニ依リマシテ相當ノ増産ヲ  
スルコトハ米ノ比デハアリマセヌケレ  
ドモ、併シナガラヤハリ是ニモ各種ノ  
制約ガアリマシテ、謂フ所ノ飛躍的ト  
云フ言葉ニ相當スルヤウな成績ヲ直チ

二期待ヲスル、描クコトハ出來ルケレドモ、現實ニ其ノ成績ヲ擧ゲ得ルコト云フコトニ付キマシテハ、是レ亦相當萬全ナリト見ル時ニハ、其處ニ種々ナル制限ガアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、尤モ年ノ豐凶ニ依リマシテ努力ノバカリデハナイ、其ノ他ノ事情ガアリマス、就中天候等ノ關係ニ依リマシテ増減ガアリマスコトハ、是ハ申スマデモナイ次第デアリマス、幸ヒニシテ自然ノ關係ノ條件ガ同ジヤウデアリ、或ハヨリ良イト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、米麥ニ付テ餘リニ大キナ期待ヲ此處ニ掛ケテ行クコトハ、自給態勢ト云フ上カラ言フト、安全ト云フコトヲ言フコトガ出來ナイ事情ニアリマス、ソコデ問題ハ諸類ト云フコトニ關係スルノデアリマス、隨テ此ノ政府ノヤツテ居リマスル食糧ノ飛躍的増産ト云フコトノ重荷ハ、結局諸ノ増産ト云フコトニ重點ガ置カレルト云フコトニナツテ來ル譯デアリマス、今朝ノ豫算ニモ此ノ諸類ノ増産ニ付テハ、既ニ協賛ヲ得ベク提案ヲシテ居ル次第デアリマスガ、ソレニ付キマシテハ政府トシマシテ萬全ノ慮策ヲ立テ意味ニ於キマシテ、各關係官廳、又關係團體、中央地方ヲ通ジマシテ、全力ヲ擧ゲテ是ガ増産ニ掛ツテ行ク方途ヲ講ジツ、アル次第デアリマス、是ハ何レ事務當局、政府委員ノ方ヨリ又詳シク説明ヲ申上ゲル機會ガアラウカト考ヘマスガ、屢々本會議等ニ於テモ申シマシタ如ク、現在ノ計畫トシマシテハ本年ノ諸ノ産額ハ、先ヅ大體十二、三億貫ト云フ風ニ今見テ居ルノデアリマスガ、之ヲ綜合作付ノ面積等ノ上カラ、一定ノ耕地作付ノ面積ヲ確保シ、其ノ外ニ他ノ面積ヲ、或ハ空

閑地デアリマスコトカ、或ハ軍用地デアルトカ、或ハ陸稻ヲヤツテ居ル面積デアリマスコトカ、或ハ常習的ニ旱魃ニナルヤウナ面積デアルトカ、サウ云フヤウナモノノ中デ可能ナ部分ヲ諸畑ニ轉換スルヤウナ方途ヲ講ジマシテ、計畫トシテハ大體總面積五十四萬町歩内サウシテ收量ト致シマシテ目標二十七億貫以上、馬鈴薯ハ別ニ八億五千萬貫ト云フ目標ヲシテ居リマスガ、斯ウ云フ目標ニ向ツテ進メテ行キタイ、尤モ此ノ二十七億貫ト云フノハ食糧バカリデハナイノデアリマシテ、御承知ノ如ク近時燃料ノ關係カラ致シマシテ、燃料對策ノ關係ヨリシテ甘藷ニ對スル需要ガ著シク増加シテ來テ居リマスノデ、其ノ著増シテ來タ「アルコール」原料トシテノ甘藷、馬鈴薯ト云フモノモ考ヘナケレバナラヌ譯デアリマスノデ、茲ニ兩者ヲ合セテ増産可能ナ大ナル餘地ノアル部分ト云フノガ諸類ト云フコトニナリマスノデ、諸類ノ増産ト云フコトニ重點ヲ置イテ、其ノ他ノモノハ從來通り、ソレニ出來ルダケノ施策ヲ加ヘテ増産ヲ圖ルト共ニ、諸類ノ増産ト云フコトニ最モ力ヲ入レテ行キタイ、斯ウ云フノガ今政府ノ執ツテ居リマス方針トシテ是ガ決定サレ、此ノ事柄ハ戰爭最高指導會議ノ方面ニモ反映シ、之ヲ映シテサウシテ此ノ決定ヲ見、茲ニ持ツテ行カウト云フ考ヘヲ持ツテ居ル次第デアリマス、自給對策ト云フコトハ決シテ外米ヲ廢シ、若シタハ外地ノ食糧ヲ移入シナイト云フコトデアリマセヌシ、無論其ノ點ニ付テハ出來ルダケノ、是マデ以上ノ努力ヲ致シマシテ、現ニ日滿關係ニ於キマシテハ滿洲ノ事情等ヲ勘案致シマシ

テ、前年ヨリモ多クノ糧穀ヲ輸入スルノ計畫ヲ立テテ居リマス、又朝鮮、臺灣ハソレノ特殊事情モアリマスケレドモ、尙且ツ之ニ對シテモ出來ルダケノ量ヲ移入致シマシテ、増強スルノ方途ニ付テハ遺憾ナキヲ期シテ居リマスケレドモ、究極スル所内地ノ力ヲ出來ルダケ強メテ行クコト云フコトガ根本ノ重大要件デアルト云フ意味カラ、只今概略申上ゲタヤウナ方針ニ向ツテ進ムト云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ詳細ナル事情等ニ付キマシテハ、政府委員ヨリ説明ヲ補充スルコトモアラウカト考ヘマスガ、一應大綱ニ付テ私ノ考ヘテ居リマスコトヲ申上ゲテ御答ヘト致シマス

**○恒松委員** 今ノ食糧ノ飛躍的増産ト云フヤウナ問題ニ付テハ大體ノコトニ付テハ分ツツデアリマスガ、併シ今日ハ此ノ食糧ノ増産其ノ他々ノ國家ガ農村ニ要求スル所ノ仕事ト云フモノガ、非常ニ過大ニナツテ來テ居ルノデアリマス、之ニ對シテ増産ノ一番隘路ト云ヒマスノハ、努力ノ問題デアリマス、此ノ努力ノ現在ノ狀態ト云フモノハ、大臣モ御承知ノ通りニ、人ト見レバ田園ニハ年寄ト、女ト、子供シカ居ラナイヤウナ狀態デアリマス、サウ云フヤウナ努力不足ト云フモノガ、食糧増産ノ一番隘路ニナツテ居ル譯デアリス、此ノ努力不足ト云フモノガ、是ハ完全ニ充足ハ出來得マセヌガ、此ノ不足シテ居ル所ノ努力ヲドウ云フ工合ニヤルカト云フコトハ、相當重大ノ問題デアリマスノデ、之ニ對スル大臣ノ努力對策ニ對シテノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

**○島田國務大臣** 恒松君ノ御質問ハ最重要ナル點ニ觸レテ居ルコト考ヘマス、農業努力ニ付キマシテハ總動員法ニ依リマシテ、農業委員ノ制度ガ出來テ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、又最近ニ於キマシテ林業ニ付テモ、水産業ニ付キマシテモ、各、要員ノ制度ヲ確立致シマシテ、勅令ノ制定ヲ仰グコトニナツタ次第デアリマスガ、併シナガラ實際ニ於キマシテハ御話ニ相成リマシタル通りニ、依然トシテ農業努力ト云フモノノ不足、窮屈ト云フコトガ現實ノ事實トシテアルノデアリマス、然ルニ之ニ對シマシテハ最近、先程御質問中ニアリマシタ戰爭ノ苛烈ヲ加ヘテ、段階ガ進ムニ從ヒマシテ、結局勝敗ノ決ト云フモノハ兵糧ノ確カナモノニアル、斯ウ云フコトハモウ皆認ムル所デアリ、此ノ事柄ガ極メテ最近ト云フト言葉ハ語弊ガアルカハ知リマセヌガ、漸次各方面ノ是認スル所トナリマシテ、ソコデ此ノ食糧増産ノコトニ付テハ、關係方面ニハ如何ナル方面デモ之ニ協力スルコト云フ氣運ガ、非常ニ濃厚ニナリ高マツテ來テ居ルノデアリマス、現ニ軍隊ノ方面ニ於キマシテモ御承知ノヤウニ、是マデハ或ル必要ガアレバ一時休暇ヲ與ヘルト云フヤウナ程度ノヤリ方ニ出デナカッタヤウナ實情デアリマスガ、最近ニ於キマシテハ是等ノ點ニ付キマシテ、隊トシテ農業努力ニ對スル補助ト云ヒマスガ、援助ヲスルト云フヤウナコトヲ協力態勢トシテ考ヘラレルヤウニナリマシタ、其ノ外學生ノ動員デアリマスコトカ、或ハ農兵隊ノ組織デアリマスコトカ云フヤウナ、各方面ニ凡ニ手ガ延バサレテ、ソレニ對シテ皆進シテ協力ヲスルト云フヤウナ情勢ガ出來タコトハ、洵ニ喜バシイコトデアルト云フヨリモ、寧ロ

必要ガモノヲ解決スルト云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、現在ハ只今モ丁度此處ニ來ル時ニ、甘藷ノ増産ニ付テノ是カラノヤリ方ニ付テノ方法、要領等ニ付キマシテ閣議ノ決定ヲ見テ、是ハ何レ發表ヲサレルコト考ヘマスガ、ソレ等ニ付キマシテモ此ノ資材、努力、運輸、サウ云フ方面ニ付キマシテ、陸海軍ハ勿論、軍需省、厚生省、運輸通信省、文部省、斯フ云フ方面テ全幅ノ協力ヲスルト云フ理解ノ下ニ閣議決定ヲ見タヤウナ次第デアリマシテ、此ノ食糧ノ問題ノ解決ガ出來ナケレバ、戰爭ハ前途樂觀ヲスルコトハ出來ナイ、如何ナル場合ガアツテモ食糧ダケハ確保スル、斯ウ云フコトノ常ニ言ツテ居ツタ事柄ガ、皆關係者ガ認ムルヤウニ相成リマシタノデ、是カラヤリマス甘藷或ハ麥作、或ハ稻作、斯フ云フモノニ付テノ努力ノ不足ト云フモノガ、無論十分ニハ出來ナイニ致シマシテモ、動員等ノ關係モアリマスケレドモ、是ハ相當是等ノ理解ノ下ニ積極的ノ援助ヲ受ケラレルナラバ、農民ノ意欲、熱意ノ向上ト相俟ツテ、指導宜シキヲ得レバ此ノ問題ハ相當程度ニ解決ヲシテ行ク見込ガアルト、斯様ニ考ヘルコトガ出來ルヤウニナツタ次第デアリマシテ、甚ダ自分ト致シマシテモ責任者トシテ心強ク感じテ居ル次第デアリマス、併シ之ヲ實際ニ當嵌メテ努力不足ヲ克服スルト云フコトニ付テハ、相當ノ努力ノ要ルコトハ固ヨリデアリマスノデ、政府ハ固ヨリ議員ノ各位、民間ノ團體、斯フ云フ方面ニ對シテ十分ナル援助、協力ヲ願ハナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスガ、空氣ガソコニ向ツテ、戰爭ノ機相ガ最後のニナルニ從ツテ、理解ガ大ニ深マツテ來タト云フ

コトハ洵ニ力強イコトデアルト考ヘテ  
居ルヤウナ次第デアリマス  
○高橋委員長 恒松君、一寸最初ノ問  
題ニ付テ關聯質問ヲ致シタイト云フ方  
ガアリマス、安藤君カラモアルシ他ニ  
モゴザイマスガ……

○恒松委員 ドウゾ……

○高橋委員長 ソレデハ安藤君、大臣  
ノ時間ガ少イヤウデアリマスカラ、關  
聯質問ハ或ベク簡單ニ御願ヒ致シマス  
○安藤委員 今ヤ皇國ノ運命ヲ目  
前ニ賭ケマシタ苛烈極マル戦局下ニア  
ツテ、島田農相ガ其ノ老軀ヲ提ゲラレ  
テ、戦力培養ノ根源タル食糧確保ニ獅  
子奮迅ノ努力ヲ致シテ戴ケテ居リマス  
此ノ姿ニ對シテハ、洵ニ尊イコトト  
感謝致サレノデゴザイマス、倍ア只  
今恒松サンカラモ御質問ガアラレマシ  
テ、ソレニ對シ大臣カラ樓々御答辯ヲ致  
サレマシタノヲ拜聴致シマシテ、私モ  
大イニ心ヲ安ク致シタ次第デゴザイマ  
ス、唯之ニ關聯致シマシテ、モウ一段  
ト強ク大臣ノ御決意ノ程ヲ承ツテ置キ  
タイト存ジマスコトハ、正ニ其ノ第一  
點ハ食糧ハ本土ダケデモ需給調節ヲ致  
シテ行カネバナラヌノダ、斯ウ云フコ  
トノ御答ヘデアツタノデアリマスガ、  
洵ニ其ノ通りト存ズルノデアリマス、戦  
局ハ日々ニ容易ナラヌ場面ニ到達シテ  
居リマスルコトハ御承知ノ通りデアリ  
マシテ、此ノ場合我々國民一人々々ハ  
承認必謹ノ姿ニ於テ、例ヘテ申シマス  
ナラバ、本土ノ四面ヲ悉ク敵ニ依ツテ  
包圍サレル、或ハ本土ヲモ戰場トスル  
ヤウナ狀況ノ中ニアリマシテモ、皇國  
民本然ノ姿ニ徴シ、飽クマデモ勅ヲ體  
シテ皇國護持、戰爭目的達成ノ爲ニ戰  
ツテ行カネバナリマセヌ、敢テ是ハ亡  
靈トナツテデモ戰ツテ行カケレバナ

ラスコトハ言フマデモアリマセヌ、斯  
様ナ戰爭ヲ最悪ノ場合マデモ豫想シテ  
置クト云フコトハ、洵ニ必要ナコトデ  
ハナイカト存ジマス、此ノ時ニ相成ツ  
テ參リマスレバ、單ニ戰爭ノ爲ニハ食  
糧ガ大事ダ、或ハ腹ガ減ツテハ戰爭ガ  
出來ナイト云フヤウナ、古來言ヒ慣ラ  
サレタヤウナ諺ノナル姿カラ更ニ飛躍  
シテ、此處ニハ立派ナル兵器トシテノ  
立場ヲ執ツテ來ル、即チ前線ニ於テ使  
ハル、所ノ兵器、戦力増強ノ培養ノ基本トシ  
テノ食糧ト云フコト以上ニ、直接兵器  
トシテノ立場ヲ執ツテ現ハレテ來ルノ  
デハナイカト思ヒマス、是ハ本當ニ形  
容詞トシテデナシニ、兵器トシテノ姿ヲ  
以テ眺メテ行キマス時ニ、ソコニ幾  
多ノ隘路ガアリ困難ガアルトハ申シマ  
シテモ、其ノ觀點ニ立ツテ計畫ガ進メ  
ラレ、實際ガ進メラレテ行キマス時ニ  
於テハ、見事ニ之ヲ克服シテ行クコト  
ガ出來ルノデハナイカ、即チ二ノ次、  
三ノ次ト云フ考ヘヲ持ツテ居ル所ニ色  
色ナ困難ガアルデアリマセウガ、第一  
線兵器トシテ生産スルノダト云フ所ニ  
於テハ、マダ、此ノ食糧生産ノ増強  
ヲ期シマス上ニ於テ、切開カレテ行ク  
所ノモノガアルノデハナイカ、斯様ニ  
考ヘルノデアリマス、只今モ承リマス  
レバ、此ノ點ニ付キマシテハ種々ト御  
配意下サイマシテ、殊ニ戰爭最高指導  
會議ノ問題ニマデ、取上ゲテ行ツテ居  
ツテ下サルサウデアリマスガ、更ニ  
更ニ一層ノ御努力ヲ持ダレテ、大臣ノ  
御決意、大臣ノ御認識ハ既ニ出來上ツ  
テ居ルコトデアリマスルガ、大臣御周  
圍、大臣ノ下僚ノ人々ニマデ此ノ姿ヲ  
徹セシメラレテ、食糧ハ兵器ナリ、此  
ノ事實ヲハツキリト認識シ、サウシテ

具現シテ行クヤウニ致シテ戴キタイト  
存ズルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大  
臣ノ御所見ヲ一ツ承ツテ置キタイト思  
ヒマス  
○島田國務大臣 私ハ今少シ閣内ノ要  
務ガアリマスノデ、此ノ際退席ヲシタ  
イト思ヒマスガ、只今ノ安藤君ノ御述  
ベニナリマシタ事柄ニ付キマシテハ、  
全ク感テ同ジウスル次第デアリマス、  
先般豫算委員會デアツタト思ヒマス  
ガ、總理大臣ガ既ニ食糧ハ兵器ナリト  
云フコトノ意味ヲ、質問ニ對シテ御答  
ヘニナツテ居ルノデアリマス、サウシ  
テ又戰爭ノ時ニ食糧、所謂兵器ガ大切  
デアリ、是ガ武器以上ノ武器デアアル、  
斯ウ云フ考ヘ方ハ、我が國ニ於テハ既  
ニ古カラ其ノ教ヘガ戰訓トシテ傳ヘ  
ラレテ居ルト思フノデアリマス、元  
龜、天正、此ノ戰國時代ハ固ヨリ、神功  
皇后ノ三韓征伐、豐臣秀吉ノ朝鮮ノ役、  
斯ウ云フ戰爭ノ歴史ヲ見テミマスルト、  
殊ニ群雄割據ノ時代ニ於キマシテ兵糧  
ニ重キヲ置キ、兵糧ヲ先ヅ第一ニ大切  
ニシタト云フコトガ、古名將ノ執ツテ  
居ル共通シタ根本ノ政策デアツタト、  
斯様ニ了解シテ居ルノデアリマス、此  
ノ點ニ於テ失敗シタ者ハ滅ビ、此ノ點  
ニ於テ注意ガ周到デアツタ者ハ覇ヲ稱  
ヘ、雄ヲ稱ヘタト云フコトハ、當時ノ  
歴史ヲ見レバ極メテ顯著ニ教ヘラレル  
所デアリマス、信長ノ本願寺征伐ニ於  
テ、本願寺ガ砂タルアノ大阪ノ一角ニ  
據ツテ十幾年ノ間天下ノ兵ヲ引受ケテ  
維持シ得タト云フコトハ、是ハ武力ト  
云フコトモアリマスガ、全ク毛利元  
就、毛利家ノ兵糧ノ貢ニ依ツテ戰ヒ得  
タ、是ガ大キナ原因デアツタコトハ、  
是ハ歴史家ノ齊シク認メテ居ル所デア  
リマス、信玄ノ兵政、或ハ謙信ノ遠征

シテ失敗シナカツタコト、北條早雲ノ  
成功シタコト、是等ノコトヲ段々ニ見  
マサルト、我が國ノ戰爭スル人々、武  
將ノ間ニハ兵糧ガ戰爭ノ一大要訣デア  
リ、ソレガ武器以上ノ武器デアルト云  
フコトガ教ヘラレテ居ル譯デスガ、事  
物ガ非常ニ複雑ニナリ、世ノ中ガ進歩  
シ、サウシテ科學兵器ノ出現、新兵器  
ノ出現、斯ウ云フヤウナコトカラシテ  
武器ノ精強ニスレバ戰爭ニ有利ダ、斯  
ウ云フコトガ非常ニ重キヲ置イテ考ヘ  
ラレルヤウニナツタノデアリマス、併  
シ其ノ根本ニ於テヤハリ食糧問題ガア  
ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノ  
デアリマシテ、是ハ前大戰當時ノ「イ  
ギリス」ノ總理大臣「ロイドジョージ」  
ノ書イタ回顧録ニモ、其ノ點ガ指摘シ  
テアルノデアリマス、今度ノ戰爭デモ  
恐ラク此ノ世界戰爭ノ最後ノ優者ハ、  
食糧ノ缺乏ヲセズニ戰ヒ抜イタ國ニア  
ルト思フノデアリマス、今ニ至ツテ此  
ノ戰爭ノ起キタ原因ナリ、成行ヲ論ズ  
ル違ハナイ、此ノ時ニナレバ此ノ戰爭  
ヲ戰ヒ切ル外ハナイ、殊ニ彼等ガ有色  
人種ト言ツテ居ル我々大和民族ハ、此  
ノ戰爭ヲ中途ニシテ、止メル譯ニハ行  
カナイ、最後マデ此ノ戰爭ヲ戰ヒ抜ク  
外ハナイノデアリマス、之ヲヤルニハ食  
糧ヲ安全ニ確保スル必要ガアル、ソレニ  
ハ滿洲カラ取レルモノガアレバ取り、  
北支カラ取レルモノガアレバ取ル、朝鮮  
カラモ、臺灣カラモ、或ハ南方カラモ  
取レルモノガアレバ無論取ラナケレバ  
ナラヌ、ソレハ要ヲヌオ世話ダト云フ  
ヤウナ態度ヲ取ルコトハ無論出來ナイ  
譯デアリマスガ、併シナガラ慈ノ根  
本ノ問題トシテハ、國內ニ於ケル自給  
態勢、ソレガ爲ニハ先程詳シクハ申上  
ゲマセヌデシタガ、主要食糧ニ付テハ

固ヨリ、又副食物ノ關係、雜穀類、或  
ハ最近數年來研究サレテ居ル所ノ未利  
用資源、斯ウ云フヤウナモノニ付テ  
モ、先ヅ現在農商省所管ノ仕事ノ中ニ  
於テ、凡ソ食糧ニ關スルコトニ付テハ  
相當廣ク深く研究ヲサレテ居ル、中ニ  
ハ之ヲ專業化シ、量化シテ大量ニ生産  
スルコトノ出來ルモノニ付テモ、亦研  
究ヲソレノ致シテ居ルヤウナ次第  
デアリマス、唯現在ノ食糧管理局デヤツ  
テ居ル主ナル食糧ノ需給ノ推算ト云フ  
コトヲ離レテ、其ノ算盤ノ外レタ時ニ  
ドウ云フ處置ヲ執ルカト云フコトハ、  
最近ニ於キマシテ決シテ我々ハサウ云  
フキトヲ想像シテ居ラヌシ、又口ニ  
上スコトモ面白クナイト思ヒマスガ、  
「ラバウル」ニ駐屯シテ居ル兵隊ノヤツテ  
居ル自給自足ノヤリ方、斯ウ云フヤウ  
ナコトカラモ大イナル教訓ヲ得テ考  
ヘマス、此ノ大八洲ノ瑞穂ノ國ノ將  
來ニ於ケル食糧ニ付テハ、決シテ不安  
ナ狀態ニ陥リ、皆ガ相當ナル注意ヲス  
レバ食糧ノ爲ニ行テシマフト云フ  
ヤウナコトハナイモノト信ジ、又左様  
ナコトヲアラシメテハナラヌ、斯ウ云  
フ考ヘヲ以テ上下一致シテ此ノ問題ヲ  
解決シナケレバナラヌ、唯食糧ハ兵器  
ダト申シマスケレドモ、然ラバ農村ノ  
農家ハソレヲ軍需生産ダ、斯ウ云フ風  
ナ簡單ナ考ヘ方ヲスル譯ニハ無論行キ  
マセヌ、農家ニハ農家ノ精神ガアリ、  
農業ニハ農業ノ本質、特性ト云フモノ  
ガアリマスカラ、左様ナ拘子定規ノコ  
トハ考ヘラレヌノデアリマスガ、皇國  
農民ノ其ノ精神ヲ基トシテ、サウシテ  
對策ヲ講ジ、之ニ對シテ豫メ諸般ノ處  
置ヲ講スルナラバ、冀クハ我が食糧問  
題ト云フモノハ大イナル危險ヲ感ズル  
コトナクシテ戰ヒ抜ケル、斯ウ云フ風

洵ニ其ノ通りト存ズルノデアリマス、戦  
局ハ日々ニ容易ナラヌ場面ニ到達シテ  
居リマスルコトハ御承知ノ通りデアリ  
マシテ、此ノ場合我々國民一人々々ハ  
承認必謹ノ姿ニ於テ、例ヘテ申シマス  
ナラバ、本土ノ四面ヲ悉ク敵ニ依ツテ  
包圍サレル、或ハ本土ヲモ戰場トスル  
ヤウナ狀況ノ中ニアリマシテモ、皇國  
民本然ノ姿ニ徴シ、飽クマデモ勅ヲ體  
シテ皇國護持、戰爭目的達成ノ爲ニ戰  
ツテ行カネバナリマセヌ、敢テ是ハ亡  
靈トナツテデモ戰ツテ行カケレバナ

ラスコトハ言フマデモアリマセヌ、斯  
様ナ戰爭ヲ最悪ノ場合マデモ豫想シテ  
置クト云フコトハ、洵ニ必要ナコトデ  
ハナイカト存ジマス、此ノ時ニ相成ツ  
テ參リマスレバ、單ニ戰爭ノ爲ニハ食  
糧ガ大事ダ、或ハ腹ガ減ツテハ戰爭ガ  
出來ナイト云フヤウナ、古來言ヒ慣ラ  
サレタヤウナ諺ノナル姿カラ更ニ飛躍  
シテ、此處ニハ立派ナル兵器トシテノ  
立場ヲ執ツテ來ル、即チ前線ニ於テ使  
ハル、所ノ兵器、戦力増強ノ培養ノ基本トシ  
テノ食糧ト云フコト以上ニ、直接兵器  
トシテノ立場ヲ執ツテ現ハレテ來ルノ  
デハナイカト思ヒマス、是ハ本當ニ形  
容詞トシテデナシニ、兵器トシテノ姿ヲ  
以テ眺メテ行キマス時ニ、ソコニ幾  
多ノ隘路ガアリ困難ガアルトハ申シマ  
シテモ、其ノ觀點ニ立ツテ計畫ガ進メ  
ラレ、實際ガ進メラレテ行キマス時ニ  
於テハ、見事ニ之ヲ克服シテ行クコト  
ガ出來ルノデハナイカ、即チ二ノ次、  
三ノ次ト云フ考ヘヲ持ツテ居ル所ニ色  
色ナ困難ガアルデアリマセウガ、第一  
線兵器トシテ生産スルノダト云フ所ニ  
於テハ、マダ、此ノ食糧生産ノ増強  
ヲ期シマス上ニ於テ、切開カレテ行ク  
所ノモノガアルノデハナイカ、斯様ニ  
考ヘルノデアリマス、只今モ承リマス  
レバ、此ノ點ニ付キマシテハ種々ト御  
配意下サイマシテ、殊ニ戰爭最高指導  
會議ノ問題ニマデ、取上ゲテ行ツテ居  
ツテ下サルサウデアリマスガ、更ニ  
更ニ一層ノ御努力ヲ持ダレテ、大臣ノ  
御決意、大臣ノ御認識ハ既ニ出來上ツ  
テ居ルコトデアリマスルガ、大臣御周  
圍、大臣ノ下僚ノ人々ニマデ此ノ姿ヲ  
徹セシメラレテ、食糧ハ兵器ナリ、此  
ノ事實ヲハツキリト認識シ、サウシテ

具現シテ行クヤウニ致シテ戴キタイト  
存ズルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大  
臣ノ御所見ヲ一ツ承ツテ置キタイト思  
ヒマス  
○島田國務大臣 私ハ今少シ閣内ノ要  
務ガアリマスノデ、此ノ際退席ヲシタ  
イト思ヒマスガ、只今ノ安藤君ノ御述  
ベニナリマシタ事柄ニ付キマシテハ、  
全ク感テ同ジウスル次第デアリマス、  
先般豫算委員會デアツタト思ヒマス  
ガ、總理大臣ガ既ニ食糧ハ兵器ナリト  
云フコトノ意味ヲ、質問ニ對シテ御答  
ヘニナツテ居ルノデアリマス、サウシ  
テ又戰爭ノ時ニ食糧、所謂兵器ガ大切  
デアリ、是ガ武器以上ノ武器デアアル、  
斯ウ云フ考ヘ方ハ、我が國ニ於テハ既  
ニ古カラ其ノ教ヘガ戰訓トシテ傳ヘ  
ラレテ居ルト思フノデアリマス、元  
龜、天正、此ノ戰國時代ハ固ヨリ、神功  
皇后ノ三韓征伐、豐臣秀吉ノ朝鮮ノ役、  
斯ウ云フ戰爭ノ歴史ヲ見テミマスルト、  
殊ニ群雄割據ノ時代ニ於キマシテ兵糧  
ニ重キヲ置キ、兵糧ヲ先ヅ第一ニ大切  
ニシタト云フコトガ、古名將ノ執ツテ  
居ル共通シタ根本ノ政策デアツタト、  
斯様ニ了解シテ居ルノデアリマス、此  
ノ點ニ於テ失敗シタ者ハ滅ビ、此ノ點  
ニ於テ注意ガ周到デアツタ者ハ覇ヲ稱  
ヘ、雄ヲ稱ヘタト云フコトハ、當時ノ  
歴史ヲ見レバ極メテ顯著ニ教ヘラレル  
所デアリマス、信長ノ本願寺征伐ニ於  
テ、本願寺ガ砂タルアノ大阪ノ一角ニ  
據ツテ十幾年ノ間天下ノ兵ヲ引受ケテ  
維持シ得タト云フコトハ、是ハ武力ト  
云フコトモアリマスガ、全ク毛利元  
就、毛利家ノ兵糧ノ貢ニ依ツテ戰ヒ得  
タ、是ガ大キナ原因デアツタコトハ、  
是ハ歴史家ノ齊シク認メテ居ル所デア  
リマス、信玄ノ兵政、或ハ謙信ノ遠征

シテ失敗シナカツタコト、北條早雲ノ  
成功シタコト、是等ノコトヲ段々ニ見  
マサルト、我が國ノ戰爭スル人々、武  
將ノ間ニハ兵糧ガ戰爭ノ一大要訣デア  
リ、ソレガ武器以上ノ武器デアルト云  
フコトガ教ヘラレテ居ル譯デスガ、事  
物ガ非常ニ複雑ニナリ、世ノ中ガ進歩  
シ、サウシテ科學兵器ノ出現、新兵器  
ノ出現、斯ウ云フヤウナコトカラシテ  
武器ノ精強ニスレバ戰爭ニ有利ダ、斯  
ウ云フコトガ非常ニ重キヲ置イテ考ヘ  
ラレルヤウニナツタノデアリマス、併  
シ其ノ根本ニ於テヤハリ食糧問題ガア  
ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌノ  
デアリマシテ、是ハ前大戰當時ノ「イ  
ギリス」ノ總理大臣「ロイドジョージ」  
ノ書イタ回顧録ニモ、其ノ點ガ指摘シ  
テアルノデアリマス、今度ノ戰爭デモ  
恐ラク此ノ世界戰爭ノ最後ノ優者ハ、  
食糧ノ缺乏ヲセズニ戰ヒ抜イタ國ニア  
ルト思フノデアリマス、今ニ至ツテ此  
ノ戰爭ノ起キタ原因ナリ、成行ヲ論ズ  
ル違ハナイ、此ノ時ニナレバ此ノ戰爭  
ヲ戰ヒ切ル外ハナイ、殊ニ彼等ガ有色  
人種ト言ツテ居ル我々大和民族ハ、此  
ノ戰爭ヲ中途ニシテ、止メル譯ニハ行  
カナイ、最後マデ此ノ戰爭ヲ戰ヒ抜ク  
外ハナイノデアリマス、之ヲヤルニハ食  
糧ヲ安全ニ確保スル必要ガアル、ソレニ  
ハ滿洲カラ取レルモノガアレバ取り、  
北支カラ取レルモノガアレバ取ル、朝鮮  
カラモ、臺灣カラモ、或ハ南方カラモ  
取レルモノガアレバ無論取ラナケレバ  
ナラヌ、ソレハ要ヲヌオ世話ダト云フ  
ヤウナ態度ヲ取ルコトハ無論出來ナイ  
譯デアリマスガ、併シナガラ慈ノ根  
本ノ問題トシテハ、國內ニ於ケル自給  
態勢、ソレガ爲ニハ先程詳シクハ申上  
ゲマセヌデシタガ、主要食糧ニ付テハ

固ヨリ、又副食物ノ關係、雜穀類、或  
ハ最近數年來研究サレテ居ル所ノ未利  
用資源、斯ウ云フヤウナモノニ付テ  
モ、先ヅ現在農商省所管ノ仕事ノ中ニ  
於テ、凡ソ食糧ニ關スルコトニ付テハ  
相當廣ク深く研究ヲサレテ居ル、中ニ  
ハ之ヲ專業化シ、量化シテ大量ニ生産  
スルコトノ出來ルモノニ付テモ、亦研  
究ヲソレノ致シテ居ルヤウナ次第  
デアリマス、唯現在ノ食糧管理局デヤツ  
テ居ル主ナル食糧ノ需給ノ推算ト云フ  
コトヲ離レテ、其ノ算盤ノ外レタ時ニ  
ドウ云フ處置ヲ執ルカト云フコトハ、  
最近ニ於キマシテ決シテ我々ハサウ云  
フキトヲ想像シテ居ラヌシ、又口ニ  
上スコトモ面白クナイト思ヒマスガ、  
「ラバウル」ニ駐屯シテ居ル兵隊ノヤツテ  
居ル自給自足ノヤリ方、斯ウ云フヤウ  
ナコトカラモ大イナル教訓ヲ得テ考  
ヘマス、此ノ大八洲ノ瑞穂ノ國ノ將  
來ニ於ケル食糧ニ付テハ、決シテ不安  
ナ狀態ニ陥リ、皆ガ相當ナル注意ヲス  
レバ食糧ノ爲ニ行テシマフト云フ  
ヤウナコトハナイモノト信ジ、又左様  
ナコトヲアラシメテハナラヌ、斯ウ云  
フ考ヘヲ以テ上下一致シテ此ノ問題ヲ  
解決シナケレバナラヌ、唯食糧ハ兵器  
ダト申シマスケレドモ、然ラバ農村ノ  
農家ハソレヲ軍需生産ダ、斯ウ云フ風  
ナ簡單ナ考ヘ方ヲスル譯ニハ無論行キ  
マセヌ、農家ニハ農家ノ精神ガアリ、  
農業ニハ農業ノ本質、特性ト云フモノ  
ガアリマスカラ、左様ナ拘子定規ノコ  
トハ考ヘラレヌノデアリマスガ、皇國  
農民ノ其ノ精神ヲ基トシテ、サウシテ  
對策ヲ講ジ、之ニ對シテ豫メ諸般ノ處  
置ヲ講スルナラバ、冀クハ我が食糧問  
題ト云フモノハ大イナル危險ヲ感ズル  
コトナクシテ戰ヒ抜ケル、斯ウ云フ風

ニ私ハ信じて居リ、又ソレニ向ツテ努力シナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス、決シテ御安心ヲ願ヒタイト云フヤウナコトハ申上ゲルコトハ出来マセヌケレドモ、何處マデモ努力ヲ撻マズニ續ケテ、一途ニ其ノ目的ヲ達スルマデ之ヲ續ケテ行カネバナラス、斯様ナ覺悟ヲ持ツテ居ルト云フコトダケヲ特ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○高橋委員長 木村君ニ御相談致シマスガ、他ノ諸君モ只今皆様カラ大臣ニ對シテ御質疑ニナツテ居リマスル食糧自給對策ノ國策ニ付テノ質問ノ御要求ガ多イノデアリマス、他ノ機會ニユツクリオヤリニナツタラ如何デスカ

○木村(憲)委員 ユツクリデナク、一寸デ宜イノデスカ...

○高橋委員長 ソレデハ木村寅太郎君

○木村(憲)委員 飛躍ノ増産ト云フ問題ト自給態勢ノ確立ノ問題デアリマスガ、結局此ノ前ノ豫算總會ノ時ニ、現在ノ配給量ニ合三勺ハ維持スルト云フコトデアリマシタガ、薩摩芋ノ大增産ヲスルト云フト、例ヘバ十億萬貫食糧ニ廻ツタトシテモ、延ベニ致シマシテ約三億人位ノ食糧ヲ殖エテ來ルト思ヒマスガ、之ニ對シテ基準量ノ二合三勺以上ニ加配ヲシテ下サルト云フ意思デ大增産ヲナサルノデスカ、或ハ外ノモノガ工合ガ悪イカラ之ヲ以テ賄フト云フ意味デ甘藷ノ増産ヲスルノデアリマスカ、實際ノ問題カラ行キマスレバ、今少シ増配ヲシテ貰ハヌト云フト、都市ノ人達ノ非常ニ苦シイ場合ガアリマスカラ、其ノ基本ノ問題ダケ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ

○島田國務大臣 近來動モスレバ基準量ノ二合三勺ヲ更ニ規正スルヤウナコト

トガアリハシナイカト云フコトヲ、食糧問題ニ付テ心配ヲサレル向キガアリマス、ソコデ私ハ、基準量ノ二合三勺ト云フモノハ絕對確保ノ考ヘヲ以テ臨ンデ居ルト云フコトヲ申上ゲタ、基準量ノ二合三勺ト申シマシテモ、是ハ主要食糧デアリマスカラ、副食物モ何モナシニ二合三勺ヲ生キテ居レト云フコトハ、是ハ無論出來ナイコトデアリマスカラ、其ノ他ノ事情ガ之ニ加ハツテ考ヘナケレバナラヌ譯デアリマスガ、ソレハ戰爭ガヒドクナツテ來レバ、ソレニモ切込ンデ行カケレバナラヌ事態ガ生ジテ來ルカモ知レヌト云フコトデ、只今安藤君ニ御答ヘスルヤウニ、我々ハサウ云フ場合ノ對策モ考ヘナケレバナラヌ、舊巴ムヲ得ナイ場合ハ未利用資源ノ研究モシテ、草デモ食ツテ行カケレバナラヌト云フコトモ起ルカモ知レヌ、戰爭ノ勝負デアリマスカラ是ハ分ラナイ、併シナガラ現在ノ狀態ニ於テ我々ガ食糧事情ヲ見透シテ行キマシテ、水産物或ハ其ノ他ノ副食物、斯ウ云フヤウナモノヲ色々考ヘ合セテ、現在ノ主要食糧 即チ米麥、今日ハ甘藷モ其ノ中ニ入ツテ居リマスガ、サウ云フモノヲ綜合致シマシテ、二合三勺ノ基準量ハ動かサナイ、其ノ以上ニ出來ル場合ハ甘藷ト雖モ蔬菜用トシテ配給スルコトモ出來ル譯デアリマス、出來ルモノハ増シテ、出來ルモノハ出來ルダケ配給モシ、増配ガ出來レバスルト云フ考ヘデアルケレドモ、最低限ヲ、基準量ノ二合三勺ヲ動かスコトアルベシト云フヤウナ考ヘ方ヲシテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲタ譯デスカラ、サウ云フ風ニドウゾ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○吉田(賢)委員 議事進行ニ付テ申上

ゲマス、今理事ト色々御相談ニナツタノデ、決マツテ居ルノダト思ヒマスケレドモ、若シ本會議ニ出ル爲ニ休憩デモスルノナラバ、今日ハ散會ヲシテ戴キタイト思ヒマス、サウデナケレバ、折角政府委員モ多忙ノ中ヲ割イテ見エテ居ルノデスカラ、進行シテ戴イテ、時間ヲ效率的ニ使ツテ戴キタイト思ヒマス

○高橋委員長 本會議ニ只今重大な法案モ出テ居ルサウデアリマスカラ、皆様ニ其ノ方ヘ出テ戴ク爲ニ休憩ヲ致シマスガ、併シ四時半ニナリマスト防空ノ關係カラ、點燈スル爲ニ他ノ部屋ヘ變ラナケレバナラヌ、斯ウ云フウルサイコトモゴザイマスカラ、只今ノ御要求ノ通り本日ハ此ノ程度ニ止メマシテ、明日ハ成ベク午前中カラ開會致シタイト思ヒマスガ、速記其ノ他ノ都合デサウ自由ニ參ラヌコトモゴザイマスノデ、公報ヲ以テ御知ラセ致シマスカラ、成ルベク公報ヲ早目ニ御覽下サルヤウニ御注文申上ゲマス、本日ハ此ノ程度デ散會致シマス

午後三時二十六分散會

- (參照)
- 一、本年度芋類作付反別數、府縣別、收穫各目標
  - 二、農業要員規定、男女數、府縣別
  - 三、配給主食糧ノ量、年齡別、職業別
  - 四、中央及地方(例)食糧營團、規則、定款
  - 五、最近農林統計(農商省編)
- 森部委員要求資料
- 一、十八年及十九年甘藷、馬鈴薯ノ政府買上高及其消費用途別數量

- 二、六大都市及北九州等大臣指定地區ニ對スル青果物ノ入荷數量(十八年及十九年度)
  - 三、十八年及十九年米穀生產獎勵金支出總額
- 木村委員要求資料
- 一、十九年產甘藷ノ生產及用途別ト二十年度ノ用途別生產目標
  - 二、燃料アルコール及燒酎ノ生產工場數及其生產石數及可動率
  - 三、薯會社ノ經理內容(可及的明細ニ)
  - 四、小作料ノ物納ト金納トノ割合
  - 五、市町村農業會長ノ兼務及專任ノ割合
  - 六、各都道府縣米麥甘藷馬鈴薯ノ反別及反當供出割合高
  - 七、各都道府縣別、年齡別、業務別米ノ配給基準
- 恒松委員要求資料
- 一、自作農創設ト土地分合ノ十九年度促進狀況

昭和二十年二月三日印刷

昭和二十年二月三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局